



# お家で楽しむ語学学習～スペイン語紹介編～

Hola! Como estás? (こんにちは! お元気ですか?) 今月号ではスペイン語についての歴史や仕組み等についてご紹介したいと思います。それではVamos!!! (行ってみましょう!)

スペイン語はスペインだけではなく、中南米でも話されている言語です。地域ごとに方言やアクセント、単語の使い方の違いなどがありますが、スペイン語は広く話されている言語として知られています。

## スペイン語の起源

スペイン語の起源はラテン語だと言われており、口語での俗ラテン語から派生していったと言われています。ラテン語とは古代ローマ帝国で使われていた言語です。イベリア半島では8世紀ころ、イスラム教徒が渡り勢力を伸ばしていきました。そののち、キリスト教徒によるレコンキスタ(国土回復運動)で領土回復がなされ、その時期にアラビア語の影響も受け、今のスペイン語になりました。

## スペイン語の特徴～男性名詞、女性名詞、定冠詞～

スペイン語には、日本語にはない、男性名詞、女性名詞の区別があります。例外もありますが、大体の単語は語尾を見て性別を区別します。o で終わっている単語は男性名詞、a で終わっている単語は女性名詞の場合が多いことが挙げられます。例えば manzana(リンゴ)は a で終わっているので女性名詞と分かります。その場合、定冠詞としてスペイン語では男性名詞には el、女性名詞には la をつけるため、la manzana となります。また、名詞ではない言葉を名詞化するために中性の lo を使用することもあります。詳しく知りたい方は、ぜひ当協会の図書コーナーにあるスペイン語の学習本を参考にさせていただきます。

## スペイン語の会話例



Hola, Buenos Dias (おはよう) Buenos tardes (こんにちは) Buenas noches (こんばんは)

Como estás? (元気?)

- Muy bien! (とっても元気だよ)

Mi nombre es ○○. Mucho gusto. (私の名前は○○です、お会いできてうれしいです。)

De donde eres? (どちら出身ですか?)

- Soy de Japon. (日本です。)

いかがでしたでしょうか? スペイン語は世界でも4番目に多く話されている言語。これを機にスペイン語を学習されてみては?





# World Cooking vol.4

Привет！プリビエット！さて、何語のあいさつかお分かりでしょうか？文字でわかる方もいらっしゃるかもしれませんが、これはロシア語でのあいさつです。今月号ではロシアの料理についてご紹介していきます。

ロシアは面積約170万km<sup>2</sup>で、日本の45倍の国土があります。そんなひろ～いロシアにはたくさんの料理が存在します。日本でもロシア料理店がありますよね。

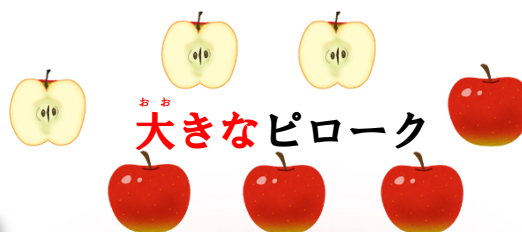
今回ご紹介したいお料理に、ピロシキがあります。日本では揚げたピロシキが一般的で、中に春雨が入っているものを想像する方も多いかと思えます。ロシアではキャベツや、魚のソテー、ジャガイモやお米、ゆで卵など様々な種類の具が入った焼きピロシキがあります。ちなみに、ピロシキという名前は「小さいピローク」という意味で、ピロークというのはピロシキの大きいサイズのものをいいます。下のコラムをご覧ください。

また、ロシア料理と聞いて思い浮かべるのはやはり赤いスープの「ボルシチ」ではないでしょうか。ボルシチの赤はビーツという甜菜の一種からのものです。ボルシチはロシア料理と考えられがちですが、発祥はウクライナとされています。隣接した国なので、このように料理自体も国を超え、人々に親しまれているようです。北に位置するロシアでは、温かいスープなどが好まれます。また、赤という色が温かさをもっと演出してくれていますね。



ボルシチ。スメタナというサワークリームを添えて。

フクースナ  
ВКУСНО!  
(おいしい!)



大きなピローク

ピロークはロシア語で「宴会」を意味します。お総菜パンとしても知られていますが、中にはリンゴやプラムを入れた甘いもの。

ロシアでは郊外にダーチャという菜園付き別宅を持つ人も多く、夏から秋にかけてそこで野菜を栽培し、冬に向けた保存食を作ることも行われています。



国名：ロシア連邦

首都：モスクワ

公用語：ロシア語

人口：約1億4680万人

(2017年時点)



# オーストリア ベルンドルフ市

国際友好都市オーストリア共和国ベルンドルフ市とは、今年の10月で提携55周年を迎えます。今月号は、ベルンドルフ市との交流について抜粋して紹介したいと思います。



## 記念植樹

2015年10月に50周年記念事業の一環として、ベルンドルフ市から花巻市へワイン醸造用ブドウの「グリューナ・ヴェルトリーナー」の苗木50本が贈られ、記念植樹式典が行われました。



## グリューナ・ヴェルトリーナーの様子

ぶどうは順調に成長し、昨年从这个苗木から収穫されたぶどうのワインが販売されています。



6月に伺った際には、圃場には青々と茂ったぶどうの木が並んでおり、丁度、ぶどうの花が咲き始めた所でした。今後の成長が楽しみです。



## グリューナのワインが販売されています

今年も、その苗木から収穫されたぶどうを使用した「グリューナ・ヴェルトリーナー2019」の販売が開始されました！！熟した果実を思わせるような香り、穏やかな酸味が感じられ、今年は甘味以外のいろんな味わいもあり本場の雰囲気も出ていてかなりいいワインに仕上がっているということです。ぜひよく冷やして飲んでみてください。



## 大迫がワインの生産地なのはなぜ??

昭和22・23年の台風によって大規模な被害を受けた大迫町。大迫町は傾斜地が多いこと、年間降水量が少ないこと、地質が石灰質であることから、復興策として当時の岩手県知事よりぶどう栽培を推奨されたことが始まりなそう。テロワール（Terroir）と呼ばれる生育環境、特に「土壌」がぶどう栽培に適していたことから、エーデルワインで生産されているワインは、日本で造られているワインとは一味違うそうです。国内のみならず国外のコンクールなどでも数々の賞をいただいているのが何よりの証拠ですね。

先人たちの先見の明と、関わった方々の探求心と情熱、そして友好都市との交流が見事に融合し出来上がったワイン。これまでとそしてこれからのベルンドルフ市との交流に思いを馳せて味わってみたいですね。

岩手県国際交流協会主催の『災害時多言語サポート研修会』が下記の日程・会場で開催されます。  
サブ会場となる花巻では、主会場となる盛岡とZOOMで繋いで行われます。参加費は無料で、募集  
人数は30名となっております。どなたさまでも受講可能ですので、是非ご参加下さい。

実施日時	開催地	開催会場	申込期限
8月22日(土)	11:00~	盛岡市 (主会場)	8月19日(水)
	15:30	花巻市 (サブ会場)	
タイムスケジュール	11:00~12:00	基礎研修①	「災害」
	13:00~14:00	基礎研修②	「外国人とのコミュニケーション」
	14:10~15:30	ブラッシュアップ研修 (ケーススタディ) 災害時の場面を想定して、対応の仕方を検討します。	
講師	越野 修三氏 岩手大学地域防災研究センター-客員教授/防災危機管理アドバイザー 松岡 洋子氏 岩手大学グローバル教育センター-教授		
問合せ・申込先	(公財)岩手県国際交流協会 〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通 1-7-1 アイナ 5 階国際交流センター TEL 019-654-8900 / FAX 019-654-8922 / Email event-iaa@iwate-ia.or.jp		



当協会では、一部の本の貸し出しをおこなっております！是非、交流会館まで足をお運びください。  
※尚、雑誌はバックナンバーのみ貸し出いたします。(2週間)

＜定期購読雑誌 最新号の内容＞

- **Hiragana Times - ひらがなタイムズ -**  
「キリスト教を拒否した鎖国政策」
- **News Week 日本語版**  
「特集：ルポ新宿歌舞伎町「夜の街」のリアル」
- **ENGLISH JOURNAL (CDは館内でのみ貸出可能)**  
「Podcast&ラジオで使える英語を耳から学ぶ」



問い合わせ先

〒025-0004 岩手県花巻市葛第3地割183番地1  
TEL : 0198-26-5833 FAX : 0198-26-5855  
E-MAIL : kokusai\_staff\_c@ext.city.hanamaki.iwate.jp  
HP : http://hanakokusai.wordpress.com

開館時間：8:30~17:30 休館日：土日祝祭日、年末年始

